

| 項目 | 意見・要望   | 年齢  | 性別  |
|----|---|-----|-----|
| 教育 | 生まれによって、将来の人生がおおよそ決まってしまう社会は良くないと思います。公教育を充実させて恵まれない境遇の方も、努力すれば活躍できるように、ぜひよろしくお願ひします。   | 40代 | 男性  |
|    | 若者の就業支援の仕事をしています。もっと働くということを早期から考えられるような仕組みが義務教育からあれば、就職できないし、しない若者はいなくなるのではないのでしょうか？   | 20代 | 男性  |
|    | 私は国づくり、町づくりは教育からという理念を胸に抱いております。そこに少しでも投資するだけで国は変わるでしょう。予算90兆億超の一部だけでも、もっと教育分野に投資してください。ただ、教育者はやりがいをもった職でなければならないのに、近年ではつらい仕事ととらえられています。国の宝である“人”を大切に作る国づくりを進めてほしいです。   | 20代 | 女性  |
|    | ①人の教育のために、公務員でも教員の待遇を手厚くし、選挙を厳しくし、小学教育から「基本的思考」の教育、「現代社会の仕組み」の教育を向上できる人員、環境を作成することが必要だと感じます。<br>②交通の問題、田舎の交通  | 20代 | 男性  |
|    | 出生率を上げることが政府が目標として掲げているが、安心して子供を産み、育てるための施策が貧困である。保育にかかわる実情を見ると、保育所・保育士不足、保育士の報酬のとんでもない低さ等、数々の問題がある。また、非正規雇用の増大のため、産み・育てる主体の親の収入が低くなっていて、お金を子供にかけられる経済的余裕がなくなっている。そのことが子供の貧困率の上昇につながってしまった。政治の無策を感じる。もっと子供、青少年育成に予算を回すべきである。教育・社会福祉予算の飛躍的拡大こそが「国を守る」ことだと私は思う。   | 60代 | 男性  |
|    | 一億総活躍社会の実現には、学習活動(日常的な基盤として)が大切であると考えている。全国各地の公民館(1万3000か所)や生涯学習センターを雇用につながる学びの学習メニューをそろえる必要がある。また各地の青年団等に地域を元気にするための学びのファシリテーターとして「職」をつくる必要がある。「学び循環士」といった、人と人をつなぐことで一億総活躍社会が実現できると考える。「社会教育」という月刊誌では、2000年5月号ですでに「生涯活躍」の特集している。   | 50代 | 男性  |
|    | 現在の日本のすべての問題を改善する源は少子化ストップである。金融を操作してもいろいろなかけ声をかけても人口が減る社会はすべて衰退するしかない。まず第一に選挙に女性のクオータ一制の導入。男女各議員がほぼ同数になるまで実施する。女性の意思やアイデアを尊重するためには、強気にしなければダメ！男性が逆差別をうけるでしょう。第二に子育ての無償化。子どもに投資することは国家としても最大有効な投資です。義務教育の給食無料化、高校授業料無料化、国立大学授業料大幅引き下げ。非正規社員40%社会では、教育の負担を減らさないと、出産自体不可能です。OECDの中でも日本は最低の教育費比率、そのひずみがすでに教育格差になっている。高い教育を受けることは本人のためというより、より社会のためになっていること。教育の受益者負担ということはない。また女性は家庭という社会の仕組みやジェンダーの問題も根深い。教育、子育てに画期的予算がつかない限り、現状は変わらないでしょうね。 | 60代 | 女性  |
|    | 国に頼るのではなく地域で少子化・介護の問題を解決できる社会を作りたい。<br>人口の一極集中が続いています。地方に魅力的な仕事や目を向ける方法をしてほしい。<br>若い人の教育、特にIT・科学への力を入れてほしい。   | 40代 | 男性  |
|    | ソフトウェア関係の職種だったが、一定期間(30~40歳)しか現場で働けなかった。マネジメント関係に追われて窓際になって、辞めざるを得なかった。仕事ができるにも関わらず、途中でやめてしまう人もいる。その人に目を向けないと一億総活躍にはならない。一番大切なのは教育の改革→生きていくための知識を学ぶべき。日本では、実践的なものが少ない。アメリカのように株の売買とかシュミレーションをいかした教育。  | 50代 | 男性  |
|    | 教育とにかく力を入れてください。制度、設備より人間力を高める教育を！<br>制度、設備は場合によってそれを悪用し、この政策の足を引っ張る人を生み出します。   | 50代 | 無回答 |
|    | 「一人一人が生きがいを持てる生活の実現」という理念そのものは大賛成。そのために上記個別の重点テーマも必要かもしれませんが、ひとりひとりが受け身でなく、各自の役割の中で、主体的にその人の人生を生きられる社会的環境が必要であると考えている。マスコミを利用したプロパガンダや補助金ばらまき等、国家の力を弱める施策はやめていただきたい。最後の発言者がいっていた、教育への強化もそのひとつ。簡単ではないが、ぜひ政府に取り組んでいただき、自分も可能な限り貢献していきたい。  | 40代 | 男性  |
|    | ・再教育、職業教育の機会を増やす必要性について⇒アメリカのコミュニティカレッジのような、いつでも学びなおせる仕組みが必要なのではないでしょうか？<br>・学校教育レベルでの「多様性」を尊重するトレーニングの機会。  | 30代 | 男性  |

「一億総活躍社会の実現に向けたご意見・ご要望」(一億総活躍社会実現対話・東京 アンケート結果)

| 項目  | 意見・要望   | 年齢    | 性別 |
|-----|---|-------|----|
| 教育  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活躍社会の実現は、働けるものは全員働きましょう、生産を増やそう、お金をかせぎましょう。まさしく働く場所の提供ではないか。安定した場所づくりをお願いしたい。</li> <li>・ 職場の格差は是正、又最低賃金1000円の実現の約束</li> <li>・ 教育にお金がかかりすぎる対策を。子育てと勤めの両立の難しさ</li> <li>・ 65歳定年導入の強化</li> <li>・ シルバー人材センターの活用</li> <li>・ 介護職員は社会福祉法人なので、地域の奉仕活動に参加するよう要請</li> </ul> | 60代   | 男性 |
|     | 一億総活躍、総教育に向けてNHKでの無償教育の充実をお願いしたい。オリンピックにむけ、英会話・外国語習得無料教育プログラムを企画願いたい。年金生活者がオリンピックに向けてボランティア・通訳として活躍したい。   | 70代以上 | 男性 |
|     | 教育：大学入学時に専門を選ばなくてはならない大学が多い現状は改める必要があると考える。適性や興味関心の不一致を簡単に是正できる仕組みにしてほしい。<br>介護：都市部の介護職員の待遇改善の必要性はわかったが、それは地方からの人材流出を加速させる負の側面もあると感じた。<br>初等教育をもっと重視すべきだと思う。高学歴化政策を取り下げ、予算を小学校教員の維持・拡充に結びつけてほしいと強く思う。大学などでもこのような会を開いてほしい。   | 20代   | 男性 |
|     | 最低賃金のアップ。そして可処分所得をふやす。子どもの貧困問題の解消。誰もが自由に学ぶことができる環境づくり。実現するためには、教育が一番大切である。そう思います。政府はこれが実現するには、どのくらい時間がかかると考えているのか？プラン発表時はある一定のリミットを設定してほしい。   | 40代   | 男性 |
|     | 若き研究一途な人材が大学の独立行政法人化の中で生かされていない。ポズドクの問題です。75歳まで高校の教壇に立っていたものです。   | 70代以上 | 男性 |
| 若者  | 次の時代を背負う若者が生き生きと生活できる社会にしてほしい。(引きこもり対策など)   | 60代   | 男性 |
|     | 団塊世代のシルバーパワーも素晴らしいと思いますが、現状いまの若い人の職がなかったり、育っていないことは重大な問題だと思います。若い人が希望を持てる社会にしてほしいです。8歳の息子の将来を考えると不安です。格差是正のための社会システムの変換も必要です。少子化対策にもっと力を入れてほしいです。   | 30代   | 女性 |
|     | 若い方への強みとなる社会をもっと明瞭にしてほしい。また障害者の方にも合う、今後も続いて安心生活できる社会を作ってほしいと感じた。  | 10代   | 男性 |
|     | 1. 底辺の人々の現状をもっともっと知ってください。<br>2. 日本も格差社会に突入しています、また社会不安も広がっています。中産階級を広げていく事と同時に進めてほしいです。若い人たちが夢を持って社会で活躍できるように、是非とも実現してください。<br>有言実行、最後まで責任を持った行動を期待します。  | 70代以上 | 男性 |
|     | 私のような年寄(72歳)ではなく、若い人(現役世代)に多く支援をすべきと思います。介護関係の仕事をしています、特養入居者で高額介護給付金をもらっている人がいて預金残高が増えています(遺族年金受給者)フランスのように出生率をあげることに力を注ぐべきと思います。   | 70代以上 | 男性 |
| 働き方 | 働く意欲のある健康な人ができるだけ多く働ける社会を実現してほしい。同一労働、同一賃金も早く実現してほしい。   | 60代   | 男性 |
|     | 実現するために、まず労働に関する法律を見直すべきである。特に人手不足問題が深刻であると思うので、特に人手が足りない職業、企業の労働体形の見直し、整備をしていくべきだと思う。また、日本人は働くことが当たり前な社会になっているので、風習・文化等の見直し、考えもひとりひとりが変えるべきだと思う。   | 20代   | 男性 |
|     | 介護・保育などを抱えている人に対する多様な働き方を認める社会の実現を政策として進めるべき。   | 50代   | 女性 |
|     | 分配の視点を持ってほしい。正規・非正規な格差を是正してほしい。将来に希望・安心がなく、格差の拡大・進行している中、結婚・子育て・消費の増加は望めない。   | 70代以上 | 男性 |
|     | 1. 介護施設で働く人の待遇改善により、人材の確保を進めることが緊急の課題である。<br>2. 非正規雇用社員の待遇改善が必要。企業は利益追求のみでなく、働く人にも分配還元していく指導が望まれる。<br>3. 待機児童の解消を進め、女性の職場を増やす必要がある。   | 70代以上 | 男性 |

「一億総活躍社会の実現に向けたご意見・ご要望」(一億総活躍社会実現対話・東京 アンケート結果)

| 項目  | 意見・要望   | 年齢  | 性別 |
|---|---|-----|----|
| 働き方   | 出生率を上げることを政府が目標として掲げているが、安心して子供を産み、育てるための施策が貧困である。保育にかかわる実情を見ると、保育所・保育士不足、保育士の報酬のどんでもない低さ等、数々の問題がある。また、非正規雇用の増大のため、産み・育てる主体の親の収入が低くなっていて、お金を子供にかけられる経済的余裕がなくなっている。そのことが子供の貧困率の上昇につながってしまった。政治の無策を感じる。もっと子供、青少年育成に予算を回すべきである。教育・社会福祉予算の飛躍的拡大こそが「国を守る」ことだと私は思う。【再掲】 | 60代 | 男性 |
|   | 同一賃金、同一労働の提議(前提)は何でしょう？<br>定量的、定性的に考え方(意義)を整理したい。<br>①同一賃金は「お金」で表し評価できるので、誰もが理解でき、損はありません。<br>②同一労働<br>これは各人の価値観でも見られます。<br>働いた時間、売上、成果物、作ったものの数<br>持っている知識、学歴、将来性、品質、転職によるリスク<br>現状、サービス産業が多い時代となり、一律の主義は難しいです。他国の例も広く提供してほしい。                                   | 60代 | 男性 |
|   | 今は女性が末永く勤める制度が整っているが、制度が整う前に結婚・出産退職した私たち50代以上はその後の復帰が非常にむずかしかった。私はせっかく入った気に入っていた会社を出産を機に続けられず退職したことを今でもくやんでおり、続けたかったと思っている。そういった気持ちを抱えながら多くの女性が働いている事を忘れていただきたくない。また制度が整っても企業風土がそれにおいついていない。これからはひとりひとりが考え方を変えていく事が重要だ。特に50代以上の男性は相変わらず男尊女卑で長時間労働をよしとする感覚が残っている。  | 50代 | 女性 |
|   | SCSKさん、りそなさんのような取り込みを他の企業、経営者が取り込める様、経営へのメリット、収益への効果を数値公開してほしい。   | 30代 | 男性 |
|   | 日本の将来を担う子供の貧困状況は改善してください<br>女性が働きながら、家庭と両立は難しい。中小企業は十分に制度が活用されていない現状です。<br>国民が安心して生活するには、①日本が平和であること、②雇用が正規になれないと、活力が低下すると思います。生活の安定化、③世の中は公平ではないけれど、個々が尊重されることを望みます。   | 無回答 | 女性 |
|   | 企業の減税とセット引き換えで、残業代の割増率が25%から欧米並みの50%へ引き上げをできないものでしょうか？割増率が低いと、政府、マスコミ等がいくらライフワークバランスを提唱しても、企業は新たに人を雇うより従業員を長く働かせる現状があります。   | 40代 | 男性 |
|   | 現在アルバイトをしている大学生ですが、多くのパートの主婦や大学生は扶養内で働くように調整しています。しかし、それは働く能力のある人たちを働かせないようにしているようにも思えます。家族の中で父親が税金を払い、ほかの家族はその制度に守られるわけですが、個人個人が所得に合わせてみんなが税金をおさめる形にしたほうが、ひとりひとりがもっと好きなだけ働けるようになると思います。  | 20代 | 男性 |
|   | 正規社員と非正規の格差問題、雇用システムの改革にぜひ着手してほしい。子育て支援やブラック企業対策も。  | 40代 | 男性 |
|   | 若い人が安定した就職ができるようにしてほしいです。これからはがんばってください。  | 10代 | 男性 |
|   | 就職などの時に過去の失敗(留年・退学・病歴など)による判断ではなく、その人が生み出した良い結果・良い面を見るような採用基準にするべきではないだろうか。   | 10代 | 男性 |
| 私の主人は外国人で、日系企業に勤めていたことがあるが、いわゆる生活残業等を含め、日本企業の労働効率の悪さは有名だといつも言っている。話を聞いていて、福森さんのケースは大変参考にすべきであり、もし在宅勤務がもっと推進されるのであれば、また企業内の出産・育児をしながら働く労働者に対するネガティブな風潮がなくなれば、預け先さえあれば、もっと容易に産後・育児からの復帰が可能になると思います。そのためには、何よりもまず、保育士の待遇・給与をあげ、保育園数を増やすことが先決です。  | 40代   | 女性  |    |
| 人口の少子高齢、減少社会は早くからわかっていたので、私なりの経験をもとに具体的研究をしてきました。日本にある資源、今も未来もあるモノを活かす①自然②人間、この二つを活かして外国に左右されず安定した自立支援策です。特に一億総活躍社会では、65歳以上の人的資源には体力に応じ、(1~4時間の午前中だけ)生涯現役で働く仕組みとなっています。自宅がキーワードであり、自宅で自立と自由(午後から)の両立支援の(依存からの自立)仕組みです。その働き方は同一労働同一賃金でテストしました(新宿生活研究所)。ひとつのモデルをつくり、全国共通にするため、小さく産んで大きく育てる「労働技術」です。新宿生活研究所です。最後に会場の方からの意見に挙手したのですが、指名されなかったので、私の案について、事務局へ電話させていただきたいと思いますが、イエス・ノーは別として電話させていただきますので、よろしくお願い致します。 | 70代以上   | 男性  |    |

「一億総活躍社会の実現に向けたご意見・ご要望」(一億総活躍社会実現対話・東京 アンケート結果)

| 項目  | 意見・要望  | 年齢    | 性別 |
|-----|--|-------|----|
| 働き方 | <p>病児保育、介護休暇の取りやすさが重要であると考えられます。しかしながら、育児休暇による給料受給をとる制度がありながら、実際は復職する意思のない方も多いように思われます。制度をうまく利用した方が得になるようでなく、本気で働きたい方をうまく見極めていかないと、企業は育児勤務、シニアスタッフの雇用により慎重になってしまい制度はあるが形だけ進んでしまう恐れもあると思われます。</p>   | 40代   | 男性 |
|     | <p>現在政府の政策として“地方創生”もありますが、地方創生と一億総活躍は全く別の話ではなく、相互につながる部分があるのではないかと感じます。ちょうど昨日、渋谷ヒカリエで“地方創生フェス”というイベントがありましたが、こういったイベント等も含め、縦割りではなく、連携して一体となった活動を行ってほしいと思います。出産・育児・介護の面では、ITを活用した在宅ワークなどが有効な場合もあると思うのですが、現状では、就業管理や人事評価、必要なITへの投資でどうしたらいいか困っている(悩んでいる)企業が沢山あります。こういった企業に対して、早く指針等が示せるように、政策をスピードアップさせてほしいと思います。</p>   | 30代   | 男性 |
|     | <p>「同一労働同一賃金」「インターバル時間」など働き方の具体策について、生産性向上との関連で対話集会を開催してもらいたい。</p>   | 70代以上 | 男性 |
|     | <p>私の周りでは、仕事が忙しすぎて、子どもを産まないという選択をする女性も増えています。少子化を減らすためにも、本日の対話などの意見の実現を望みます。</p>   | 30代   | 女性 |
|     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 格差社会をなくしてほしい</li> <li>・ 非正規をなくして極力正社員を増やすようにしてほしい</li> <li>・ 高齢者の雇用を増やすようにしてほしい</li> <li>・ 年齢制限を禁止してほしい</li> <li>・ 雇用の格差をなくしてほしい</li> <li>・ 直接雇用の法整備をしてほしい</li> <li>・ 最低賃金を最低1000円以上に早急に引き上げてください</li> <li>・ 雇用の格差をなくしてほしい。雇用形態の見直し、</li> </ul> <p>事前に事務局に封筒にて小論文を提出してあります。ぜひお読みになってください。</p>   | 60代   | 男性 |
|     | <p>同一労働、同一賃金はそうならば・・・<br/>自分の仕事が正常に評価されるということだと考える。一般企業ではいまだに、それが実現されておらず、世襲や人脈・派閥、学校人脈・情・好き嫌いで人事が下されることが横行している。この点、国を挙げて改善していかなければ、優秀人材の有効活用、そして日本国としての将来、成長は閉ざされるものと考ええる。</p>  | 40代   | 男性 |
|     | <p>日本人は官公に民が従う慣習が根付いてしまっている(やっかみや不公平の蔓延とともに)共に日本を元気にするには、本当に末端の国民まで恩恵が及ぶよう、たとえば強制的な休暇取得、労働制限が実現するような規定・規則を発信するなど、公的な力をそのようなところに行使できるようにしてほしい。働く時間の短縮こそが総活躍の機会作りになると考える。</p>  | 50代   | 男性 |
|     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本日登壇された保育・介護職現場は、賃金upにより、労働人口を増やすことを早急に!</li> <li>・ 登壇することのない貧困格差社会という方々がたくさんおられます。母子家庭世帯に多いと聞きます。(シングルマザーとのお子さん)</li> </ul> <p>パート分野の同一賃金の引き上げを早急に進めてください。(奨学金制度の拡充は子供に借金を背負わせまずよ)</p>   | 50代   | 男性 |
|     | <p>私自身、20代後半で非正規で働いています。もともと金融機関で総合職として働いていましたが、事故があり、体を壊し退職することとなりました。今正社員の方と同じ仕事をしていても、将来の保障もなく、結婚子育てなど考えられる状況ではなく、このままでは、日本はどんどん少子化が進むと思っています。</p>  | 20代   | 女性 |
|     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学びへの支援(返済不要な資金の調達)ー現状マイナスからのスタートになっているが・・・</li> <li>・ 多様な介護に対する思い(自主的、主体的なかかわりと意義としてのかわり)ー多様なかわりがあるか?</li> <li>・ 多様な働き方を認める環境の発達ー経営者側との合意は可能か。またそのプロセスは?</li> <li>・ 子供(若者)と高齢者の問題は、国家の根幹にかかわるものである。国民的議論に広げていき、「自己責任」だけで済ませない社会環境の実現が必要</li> <li>・ 働き方改革に取り組める会社ばかりではない。むしろそんな会社は少ないのでは?</li> <li>・ 高齢者の求められる「経験」と「知恵」。イノベーションの障害になっているケースはないか?</li> <li>・ 人材センターは「シルバー」だけでなく、よいのではないか?</li> </ul> <p>(子供からお年寄りまで)賃金が伴う形も考えていく。<br/>・ マイナンバーは税金集めにつかうのではなく、人財のシェアに有意義な活用すれば、介護や保育、人材不足の業界に役立つのでは・・・<br/>能力ある人を業界全体、社会全体でシェアできれば、ある程度人材不足の解消に役立つのでは?→日本人財バンク(仮称)の設置と活用-今もあるんじゃないですか?</p> | 50代   | 男性 |

「一億総活躍社会の実現に向けたご意見・ご要望」(一億総活躍社会実現対話・東京 アンケート結果)

| 項目  | 意見・要望   | 年齢  | 性別 |
|-----|---|-----|----|
| 働き方 | <p>パート等の厚生年金強制加入について、2004年ごろ改正案が出され、2015年10月に施行されますが、2004年以降、企業側(特に中小企業)は厚生年金加入者を増やさない対策として、パート・バイトの一週間の勤務時間を20時間に設定し、それ以上働くことを禁止する動きがあります。このため、以前はバイト・パート採用のままであっても、1か月15～6万の収入が得られていた人材が月収5～6万におちてしまい、企業によってはダブルワークを禁止するため、生活できません。働けるため、生活保護も受けられず、正社員になれないものは、ますます経済的困窮者になってしまっています。企業にとっても、業務を複数のやる気のないバイトが引き継ぎもせずに行うため、仕事の質が落ち、業績にも悪影響があると思います。厚生年金強制加入については、ケースバイケースの特例の設定を切に望みます。</p>   | 40代 | 女性 |
|     | <p>・レジメを見て、「この社会楽しいのかな」「もう働きたくないな」と思いました。<br/>         ・私は公務員ですが、素敵な政策があってもいつも形骸化して(たとえば「今日は定時退庁日です」の放送を聞きながら、22:00まで残業するとか)いて、公務員でありながら、政策に信頼をおけません<br/>         ・まずは立場の弱い被雇用者、部下職員ではなく、権限を有する雇用者、幹部職員への教育、意識改革が必要と思いました。また、厳しい罰則(雇用者側への)も必要と思えます。<br/>         そもそも働くことだけが、社会参加・人生ではない。シルバー人材のおじいちゃんの話(企業戦士だったが、退職後居場所のない人がいる)が哀れだった。幼いころから「人生を楽しんでよい」と思う信念や楽しむ方法を戦争などで身につけられなかったと思う。そうした世代的なトラウマを持つ者が養育した子孫が私たちです。人生の前提を「人生を楽しむ、生き生きする」とできるような教育、社会が実現されるよう祈ります。</p> | 30代 | 女性 |
|     | <p>女性がパートで働きに出て、25万円はもらえません。御発言のあと、様々な情報を得て、現実的な知識を得られたと信じております。現在の私が25万円の収入を得るのに要する時間は月約60時間の残業(サービス残業)を要する活動です。これが現実だと思います。それにより子供と接する時間が減ります。成果主義でするので、時間を工夫して使用し、働くことが大切なのですが、その際必要なのは、国による子育て支援ではなく、母親が子供と接する時間が増えるような働き方ができる企業にしていって支援なのではないかと考えます。</p>   | 40代 | 女性 |
|     | <p>道又さん、福森さんのように恵まれた条件の会社は良いが、古い体質の企業をいかに恵まれた会社にしていくかが重要。そのための政策・行政・社会意識導入が必要と思う。高齢者が働きたい(70%)の調査結果の背景には、収入の安定と老後に未来が見えないところがあると思う(年金収入がなく、働かざるをえない)報酬がなくても社会とかかわりたい、楽な仕事だけしたい、会社では働きたくない、等々<br/>         高齢者の要望は、様々なので、選択肢をできるだけ多くしておくことが重要と思います。<br/>         財政再建(健全化)、格差是正、未来への希望が持てる社会、財務省頑張れ!</p>   | 50代 | 男性 |
|     | <p>働き方改革は是非進めていただきたいです。日本の職場は「全員が休みなく出勤すること」「全員が残業すること」を前提に仕事が割り振られていて、誰かが休暇をとったり、定時で帰ったりするだけで、ほかの人に負担がかかってしまいます。そのような状況では、休暇をとることはおろか、定時で帰ることすら申し訳なくてできません。この文化を変革するとともに「余剰人員」を常に抱えている事へのポジティブな再評価が必要なのではないかと思えます。<br/>         また、福祉国家論(たとえばEsping Anderson1990)でよく言われているように、女性の社会進出の受け皿として公務員は大変重要です。現実的な課題解決策として、公務員の処遇改善が求められるのでは、ないかと思えます。</p>  | 30代 | 男性 |
|     | <p>・手帳取れない難病者への制度、難病者に対し、障害者雇用率の認定<br/>         ・中途発症者に対しての制度<br/>         ・東京都以外で働く人の時給増⇒集中化防止<br/>         ・難病者及び障害者に対しての雇用時の年齢制限・廃止<br/>         ・性別や年齢による雇用差別撤廃<br/>         資格が取れないと職業できない<br/>         書類選考廃止⇒ガセ求人票が出回っている。</p>   | 40代 | 男性 |
|     | <p>①働きたいが働けない人への支援強化→障害者・家族の介護<br/>         ②働けるのに働かない人への対応(高齢者の一部、生活保護受給者の一部など)→場合によっては、ある程度強制した意識変革等の訓練も<br/>         ③職業差別観を取り払う(すべての職業は必要だからある)</p>   | 60代 | 男性 |
|     | <p>成長なくして繁栄はあり得ない。そして分離ありき。中小企業も良い知恵を出して、雇用の促進につとめていただきたい。障害者にも働く機会を与えていただきたい。生きがいのある社会の実現に向けて。ボランティアの受け皿が少ない。まだ認知されていないためか。結婚を機に会社を辞めると再雇用で同一賃金を得るのが難しい。その事態を打破できないものか。</p>  | 60代 | 男性 |

「一億総活躍社会の実現に向けたご意見・ご要望」(一億総活躍社会実現対話・東京 アンケート結果)

| 項目   | 意見・要望  | 年齢  | 性別 |
|------|--|-----|----|
| 働き方  | 子供の貧困1/4という数値<br>女性・貧困・高齢者2/3をどうするのか<br>雇用は困難を迎える人から優先すべき<br>女性の問題が総活躍の根本<br>クォータ、あるいはパリティなどの数を雇用の面にも入れないと日本は消滅していきます。   | 60代 | 女性 |
|      | ・ 活躍社会の実現は、働けるものは全員働きましょう、生産を増やそう、お金をかせぎましょう。<br>まさしく働く場所の提供ではないか。安定した場所づくりをお願いしたい。<br>・ 職場の格差の是正、又最低賃金1000円の実現の約束<br>・ 教育にお金がかかりすぎる対策を。子育てと勤めの両立の難しさ<br>・ 65歳定年導入の強化<br>・ シルバー人材センターの活用<br>・ 介護職員は社会福祉法人なので、地域の奉仕活動に参加するよう要請【再掲】          | 60代 | 男性 |
|      | 本日の参加者は裕福な方が大半でした。現実的には、17%の子供家庭(シングルマザーの家庭)が貧困です。元の父親(20~30代)が養育費の負担能力がないからです。日本でも年々貧富の差が広がっているように思えます。日本人の労働の場の確保及び、賃金アップ。貧困家庭のフォローが必要と思います。<br>(参考) 23区平均年収1位港区900万円、23位足立区300万円)   | 50代 | 男性 |
| 格差是正 | 弱者をもっと救える社会を実現してほしい。   | 60代 | 男性 |
|      | 課題を解決するには、国としての方向性・あり方をもっと示していき、国民に理解を得るべきと思う。格差の認識はもっておくべき。   | 50代 | 男性 |
|      | ・ 格差社会をなくしてほしい<br>・ 非正規をなくして極力正社員を増やすようにしてほしい<br>・ 高齢者の雇用を増やすようにしてほしい<br>・ 年齢制限を禁止してほしい<br>・ 雇用の格差をなくしてほしい<br>・ 直接雇用の法整備をしてほしい<br>・ 最低賃金を最低1000円以上に早急に引き上げてください<br>・ 雇用の格差をなくしてほしい。雇用形態の見直し、<br>事前に事務局に封筒にて小論文を提出してあります。ぜひお読みになってください。【再掲】 | 60代 | 男性 |
| 最低賃金 | 最低賃金のアップ。そして可処分所得をふやす。子どもの貧困問題の解消。誰もが自由に学ぶことができる環境づくり。実現するためには、教育が一番大切である。そう思います。政府はこれが実現するには、どのくらい時間がかかると考えているのか？プラン発表時はある一定のリミットを設定してほしい。【再掲】  | 40代 | 男性 |
|      | ・ 活躍社会の実現は、働けるものは全員働きましょう、生産を増やそう、お金をかせぎましょう。<br>まさしく働く場所の提供ではないか。安定した場所づくりをお願いしたい。<br>・ 職場の格差の是正、又最低賃金1000円の実現の約束<br>・ 教育にお金がかかりすぎる対策を。子育てと勤めの両立の難しさ<br>・ 65歳定年導入の強化<br>・ シルバー人材センターの活用<br>・ 介護職員は社会福祉法人なので、地域の奉仕活動に参加するよう要請【再掲】          | 60代 | 男性 |
|      | ・ 格差社会をなくしてほしい<br>・ 非正規をなくして極力正社員を増やすようにしてほしい<br>・ 高齢者の雇用を増やすようにしてほしい<br>・ 年齢制限を禁止してほしい<br>・ 雇用の格差をなくしてほしい<br>・ 直接雇用の法整備をしてほしい<br>・ 最低賃金を最低1000円以上に早急に引き上げてください<br>・ 雇用の格差をなくしてほしい。雇用形態の見直し、<br>事前に事務局に封筒にて小論文を提出してあります。ぜひお読みになってください。【再掲】 | 60代 | 男性 |

「一億総活躍社会の実現に向けたご意見・ご要望」(一億総活躍社会実現対話・東京 アンケート結果)

| 項目     | 意見・要望   | 年齢  | 性別 |
|--------|---|-----|----|
| 再チャレンジ | 一人ひとり背景の異なる状況ですべてを満たすことは難しいが、行政側・企業側・個人間のミスマッチは固定観念も多く影響していると思う。根本的に社会を変えるため、大きな転換点であり、思い切った政策をとってもらいたい。企業と個人では圧倒的に企業が優位であるため、個人を守る法律、義務を強化してもらいたい。(ハラスメントや違法な状況の放置、35歳転職限界など)労働者の怠慢も一因かと・・・一度仕事から離れても戻れる仕組みがほしい。社会のモラルも低下していると思う。  | 30代 | 女性 |
| 女性の活躍  | 私は外資系金融機関に勤務していますが、女性は出産→育児を経て皆戻ってきます。グローバルでもそうで、それは他の社員もそれは当たり前、フォローしないと、という意識があるから。この意識は日系より上だと思いますし、その上、日系企業より収益効果も高い。(有給もとれるし、残業も少ない)制度を各企業が整えることももちろん大切ですが、一番は他の社員の意識だと思いますので、国を挙げてそういうムード作りをしていただければよいと思います。総活躍に見合う“需要”も重要。企業利益が上がるような経済政策も引き続きお願いします。  | 30代 | 男性 |
|        | 女性が安心して子供が産めるよう、また子どもが産める年齢内に無理なく子どもが産める日本の社会環境の整備をぜひお願いします。そして、子育てしながらもしくは子育てが終わってから女性が活躍できる職場を増やしてください。   | 50代 | 女性 |
|        | 女性の職場復帰については、子どもの託児所不足だけでなく、復帰して業務をこなせるか(能力面において)という不安もある。復帰にあたってのキャリア支援的な施策があるとありがたいです。また、今どきの60代は非常に活たつ。まだまだ企業で働ける能力があるし、認知症防止にも役立つので、シニア活用施策も推進してほしい。  | 40代 | 女性 |
|        | 49歳会社勤めを始めて(高卒・2部大学卒)30年になり、会社では女性だけの研修を毎年受けているが、皆そろってというのが、子どもを持つと出世ができない。そのためにほしくても、考え選択の結果つくらない、せめて一人という人がほとんどであった。私はこの16年間昇進もせず、一般社員として働いている(子供二人)会社での自分で何だろうと毎日思うようになり、会社のすすめる国家資格も取得してきたが、昇進はない。男性社会の考え方、会社のあり方を変えていかなければ、人口減は当然ではないと思う。このような機会をありがとうございました。  | 40代 | 女性 |
|        | ・女性の就労を進めるには、配偶者控除の見直しが不可欠だと思います。収入についても家族単位から個人単位にシフトチェンジすべきと思います。マイナンバー導入すれば、可能ではないでしょうか?<br>・保育園不足については、民間活用に前向きになってほしいです。幼稚園の協力は得られないのか、いつも気にしています。私事ですが、少子化で子供が卒園した幼稚園が廃園の危機に何度もあたっているようです。こども園への変更にも各園だのみとのことで、資金の余裕がなければ取り残されてしまうとの先生方のお話が胸をいためます。保育施設への入所についても、認可入所者だけが得をするのではなく、働きながら保育施設を利用している人が平等になるまでに、収入ベースの利用料徴収システムに変更すれば、保育園不足も解決できるのではないかと思います。保活の母親からのデモもなくなり、社会が安定しますよ。   | 40代 | 女性 |
|        | ・政府の対策として、様々な問題はあろうと考えるが、風土の変革を行うためには、法律の改善が必要である。<br>・シングルマザーの支援、未婚者であるが子どもはほしいという女性が多々いる。法律で働く人の支援を増やしてほしい。   | 30代 | 男性 |
|        | 働く女性の育児等の支援や復職に伴う本人の希望(勤務時間や休日のとり方)を企業が早急に取組む必要性を感じた。また働く女性の子供を預ける保育園の保育士の処遇や働き方の改善も必要だと感じた。65歳以上の方も生きがいのある仕事や活動ができる場がたくさん必要だと感じた。制度も大切だが、自分たちの意識、考え方を変えていく事が大切だと感じた。   | 20代 | 男性 |
|        | 現在の日本のすべての問題を改善する源は少子化ストップである。金融を操作してもいろいろなかけ声をかけても人口が減る社会はすべて衰退するしかない。まず第一に選挙に女性のクォーター制の導入。男女各議員がほぼ同数になるまで実施する。女性の意思やアイデアを尊重するためには、強気にしなければダメ!男性が逆差別をうけるでしょう。第二に子育ての無償化。子どもに投資することは国家としても最大有効な投資です。義務教育の給食無料化、高校授業料無料化、国立大学授業料大幅引き下げ。非正規社員40%社会では、教育の負担を減らさないと、出産自体不可能です。OECDの中でも日本は最低の教育費比率、そのはずみですでに教育格差になっている。高い教育を受けることは本人のためというより、より社会のためになっていること。教育の受益者負担ということはない。また女性は家庭という社会の仕組みやジェンダーの問題も根深い。教育、子育てに画期的予算がつかない限り、現状は変わらないでしょうね。【再掲】 | 60代 | 女性 |
|        | 成長なくして繁栄はあり得ない。そして分離ありき。中小企業も良い知恵を出して、雇用の促進につとめていただきたい。障害者にも働く機会を与えていただきたい。生きがいのある社会の実現に向けて。ボランティアの受け皿が少ない。まだ認知されていないためか。結婚を機に会社を辞めると再雇用で同一賃金を得るのが難しい。その事態を打破できないものか。【再掲】   | 60代 | 男性 |
|        | 今は女性が末永く勤める制度が整っているが、制度が整う前に結婚・出産退職した私たち50代以上はその後の復帰が非常にむずかしかった。私はせっかく入った気に入っていた会社を出産を機に続けられず退職したことを今でもくやんでおり、続けたかったと思っている。そういった気持ちを抱えながら多くの女性た働いている事を忘れてないでいただきたい。また制度が整っても企業風土がそれにおいついていない。これからはひとりひとりが考え方を変えていく事が重要だ。特に50代以上の男性は相変わらず男尊女卑で長時間労働をよしとする感覚が残っている。【再掲】   | 50代 | 女性 |

「一億総活躍社会の実現に向けたご意見・ご要望」(一億総活躍社会実現対話・東京 アンケート結果)

| 項目    | 意見・要望   | 年齢  | 性別 |
|-------|---|-----|----|
| 女性の活躍 | 子供の貧困1/4という数値<br>女性・貧困・高齢者2/3をどうするのか<br>雇用は困難を迎える人から優先すべき<br>女性の問題が総活躍の根本<br>クォータ、あるいはバリテなどの数を雇用の面にも入れないと日本は消滅していきます。【再掲】   | 60代 | 女性 |
|       | 働き方改革は是非進めていただきたいです。日本の職場は「全員が休みなく出勤すること」「全員が残業すること」を前提に仕事が割り振られていて、誰かが休暇をとったり、定時に帰ったりするだけで、ほかの人に負担がかかってしまいます。そのような状況では、休暇をとることはおろか、定時に帰ることすら申し訳なくてできません。この文化を変革するとともに「余剰人員」を常に抱えている事へのポジティブな再評価が必要なのではないかと思えます。<br>また、福祉国家論(たとえばEsping Anderson1990)でよく言われているように、女性の社会進出の受け皿として公務員は大変重要です。現実的な課題解決策として、公務員の処遇改善が求められるのでは、ないかと思えます。【再掲】   | 30代 | 男性 |
| 保育    | 保育園・学童の整備。活用できる人が限られていて、働きたくても働けない。多くの人が活用できるよう、充実させていただきたい。  | 30代 | 女性 |
|       | 今日託児サービスにあずけた0歳児がありますが、今月の都内の保育園一次選考にもれ、今は将来が不安です。両親が70と80代でダブルケアのため、今は仕事のつながりが切れないよう細々としか働けません。シングルマザーなので、今のうちに子供の学費を貯めたいのに、保育園に子供が入れればしっかり働けより納税できます。安心して必ず預けられる保育園(イベントや役所仕事を減らして子どもと向き合ってくれば十分)と保育士の常識的・人間的待遇のためならば、もっと税を払ってもいいのですが。私はフリーランスのため、育休・有給はなく、実力と信頼のみで仕事をもらっています。今の日本は少子化になるべくしてなったわけで、それはなぜか、長期的ビジョン・政策が解決には必要。無駄で経費のかかるばらまきはどの役にも立ちません。その分、保育士と介護士待遇と条件を改善してあげてください。命に関わる大事な尊敬をされるべき仕事です。同時に、「教育」以外の負担が小中学校の教師にのしかかっている現状も変えるべきです。第二、三子の前に第一子を産むハードルが高いんですよ。税を一律であるのはおかしい。明らかな趣向品は高く、生活必需品や育児教育・介護品で必須のものは税率を低く、または0%にすべき。 | 40代 | 女性 |
|       | 高齢者の老人ホームと幼児教育を行う施設が一体化してはどうかと思う。なかなか田舎の祖父母と会えぬ幼児にとって高齢者との接触は人生の学びの一つになる。また高齢者にとっても自分のまごのような存在と触れ合うことで、若返り、生きがいにもつながるのではないかと。昔の日本では、自然とそういった高齢者と子供の接点があったはずだ。都心部でくらす若い世代の夫婦にとっても高齢者の存在は有難いものになると思う。   | 30代 | 女性 |
|       | 高齢者のデイサービスに勤めています。要支援の方や比較的元気な方には畑作業をアドバイスしてもらいながら行っています。御本人がいろいろ主体的に関わるようになるとどんどん元気になっていきます。収穫できたものでデイサービスの皆様で収穫祭をして、調理や盛り付けなども女性で行ってもらっています。御本人がどのような状態になったとしても、必要とされる人、活躍できる場があれば、輝いていきます。認知症の方も子供を見るだけで、笑顔になれます。私は高齢者と子供と一緒に過ごせる場を作っていきたいです。(富山型といわれるモデルです)<br>介護と保育が一体となり、地域に安心して高齢者や子供たちの声が出せるように、それを支える介護職員、保育士の賃金を上げてください。また、富山モデルへの助成をお願いします。  | 40代 | 男性 |
|       | 私は看護師として、現在求職中です。前職は保育園看護師でしたが、現場保育士の人手不足で看護職より保育が事務職の補助が多くなり、結果自分の仕事は持ち帰りやサービス残業という形でした。<br>長年の努力により、看護職はずいぶん底上げされましたが、それでも看護職・介護職・保育職は厳しい状況です。<br>いくら補助金を増やしても職員には反映されていません。<br>社会福祉法人は“おいしいお金稼ぎ”となっています。監査の見直し等、もっと現場が働きやすくなるよう考えてください。そうでなければ、介護も保育も伸びることはできません。私が勤務していた法人は経営者の個人の引っ越しに職員を使うようなところでした。いまだにこんな職場もあり、驚きました。   | 50代 | 男性 |
|       | 非正規雇用・女性の活躍においては、それを支える保育士さんの待遇改善が急務なのではないかと思いました。<br>一方、今後確実に増えていく介護人口の対応も必要と感じました。優先順位をつけ、今後の政策が有効的に働いていくことを期待しています。このような機会をいただき、ありがとうございました。   | 20代 | 女性 |



「一億総活躍社会の実現に向けたご意見・ご要望」(一億総活躍社会実現対話・東京 アンケート結果)

| 項目 | 意見・要望  | 年齢    | 性別 |
|----|--|-------|----|
| 保育 | <p>・ ショッピングモール内の遊戯施設で働いていたとき、おじいちゃんに毎日のように連れてこられる幼児がいた。家庭の事情もありコミュニケーションがうまくとれず、他児とトラブルになることも多かった。そういったことは「保育に預ける」とみなされていないと思うが、現実にはかわいそうな状況、そういったデータに出てこない人たちも救ってほしい。</p> <p>・ 未体験の保育士だが、安い時給で早朝や遅番の勤務が多く、とても働く気になれない。資格試験の日数も増やす意味がわからない。</p> <p>・ 働きたくても働けない時もあることを理解してほしい。</p> <p>・ 精神的な病気の理解が進んでほしい。一度病気になる、社会復帰できない。</p> <p>・ 市の国勢調査コールセンターの仕事で「コクゼイ」調査に協力したくないという人が多かった。一生懸命説明したのだが、安倍首相が間違っていると末端のものとしてはやる気を失う。活躍しろというなら、国勢調査の読み方くらいしてほしい。</p> | 30代   | 女性 |
|    | <p>アベノミクスをただちにやめること。年金改善、マクロ経済スライドの中止。生活できる年金水準の保障。医療、介護、年金の保険料の軽減、国民負担の軽減。保育、介護などの福祉施設の利用料無料。保育・介護の労働者の処遇改善と質の保障。急激な受け皿の拡大は働く人の平均勤続を下げる。職場からベテランがいなくなる。</p>   | 40代   | 男性 |
|    | <p>待機児童の問題は都市部と地方とは問題点が違います。同じ考えでとらえていくのは違うと思います。地域間特性で法を整備してもらいたい。放課後児童クラブ支援員として、シルバー人材を活用していく事がプラス方向へいくのでは？<br/>高齢者の就労については、週3日程度で検討が必要(健康管理その他の問題で)</p>   | 60代   | 男性 |
|    | <p>8年間旅行会社で総合職正社員として勤務し、結婚による転居のため退職しました。その後、長女を出産し、主人の転勤に伴い東京に引っ越してきました。長女が1歳になったことをきっかけに働こうとしましたが、許可・認証保育園の入園は到底無理でした。役所からは無許可またはベビーシッターにあずけてポイントを上げれば許可に入れる可能性があるといわれたのは、たった1年半前です。企業に在籍して育休を取った人だとポイントが高いのだと、私のような人はずっと機会がまわってきません。保育園を増やせばいいが、解決法ではないように思います。地方では、保育園の苦労は少ないようです。企業の東京一極集中を緩和し、本社を地方に分散させるなどで、地方の過疎化問題と待機児童の問題が緩和されるのではないのでしょうか。</p>  | 30代   | 女性 |
|    | <p>保育看護等、責任の重さとサラリーがミスマッチしている点。<br/>保育の受け皿が大きく不足している点等、早急に答えが出せる内容ではありませんが、私たちの負担している税金をシステムとして向けることに何の違和感もありません。最後は税金の使い道に議論が移ると思いますが、正しい分配(特に生きる投資)も含め、しっかりと少子化に向けた活動ができることを祈ります。</p>  | 40代   | 男性 |
|    | <p>実現すれば、本当によい社会になると思うが、現実にはハードルが高い。現在、育休中で4月に復帰予定だが、保育園がなかなか決まらず、困っている。復職してからいろいろな課題が出てくるのに、スタートラインに立っていないのは、くやしい。「保活」などという言葉がでなくなるような安心して仕事子育てできる社会と実現してほしい。<br/>保育も介護も一緒にできるような施設は作れないものか。</p>  | 30代   | 女性 |
|    | <p>介護、保育、看護師等の身分保障の充実をはかってもらいたい。</p>   | 70代以上 | 男性 |
|    | <p>出生率を上げることを政府が目標として掲げているが、安心して子供を産み、育てるための施策が貧困である。保育にかかわる実情を見ると、保育所・保育士不足、保育士の報酬のどんでもない低さ等、数々の問題がある。また、非正規雇用の増大のため、産み・育てる主体の親の収入が低くなっていて、お金を子供にかけられる経済的余裕がなくなっている。そのことが子供の貧困率の上昇につながってしまった。政治の無策を感じる。もっと子供、青少年育成に予算を回すべきである。教育・社会福祉予算の飛躍的拡大こそが「国を守る」ことだと私は思う。【再掲】</p>   | 60代   | 男性 |
|    | <p>・ 女性の就労を進めるには、配偶者控除の見直しが必要かと思えます。収入についても家族単位から個人単位にシフトチェンジすべきと思えます。マイナンバー導入すれば、可能ではないでしょうか？<br/>・ 保育園不足については、民間活用に前向きになってほしいです。幼稚園の協力は得られないのか、いつも気にしています。私事ですが、少子化で子供が卒園した幼稚園が廃園の危機に何度もあっているようです。こども園への変更にも各園だのみとのことで、資金の余裕がなければ取り残されてしまうとの先生方のお話が胸をいためます。保育施設への入所についても、認可入所者だけが得をするのではなく、働きながら保育施設を利用している人が平等になるまでに、収入ベースの利用料徴収システムに変更すれば、保育園不足も解決できるのではないかと思えます。保活の母親からのデモもなくなり、社会が安定しますよ。【再掲】</p>  | 40代   | 女性 |
|    | <p>私の主人は外国人で、日系企業に勤めていたことがあるが、いわゆる生活残業等を含め、日本企業の労働効率の悪さは有名だといつも言っている。話を聞いていて、福森さんのケースは大変参考にすべきであり、もし在宅勤務がもっと推進されるのであれば、また企業内の出産・育児をしながら働く労働者に対するネガティブな風潮がなくなれば、預け先さえあれば、もっと容易に出産・育児からの復帰が可能になると思えます。そのためには、何よりもまず、保育士の待遇・給与をあげ、保育園数を増やすことが先決です。<br/>【再掲】</p>   | 40代   | 女性 |

「一億総活躍社会の実現に向けたご意見・ご要望」(一億総活躍社会実現対話・東京 アンケート結果)

| 項目   | 意見・要望   | 年齢    | 性別 |
|--|---|-------|----|
| 保育   | <p>・ 本日登壇された保育・介護職現場は、賃金upにより、労働人口を増やすことを早急に！</p> <p>・ 登壇することのない貧困格差社会という方々がたくさんおられます。母子家庭世帯に多いと聞きます。(シングルマザーとのお子さん)パート分野の同一賃金の引き上げを早急に進めてください。(奨学金制度の拡充は子供に借金を背負わせませすよ)【再掲】</p>  | 50代   | 男性 |
|  | <p>働く女性の育児等の支援や復職に伴う本人の希望(勤務時間や休日のとり方)を企業が早急に取組む必要性を感じた。また働く女性の子供を預ける保育園の保育士の処遇や働き方の改善も必要だと感じた。65歳以上の方も生きがいのある仕事や活動ができる場がたくさん必要だと感じた。制度も大切だが、自分たちの意識、考え方を変えていく事が大切だと感じた。【再掲】</p>  | 20代   | 男性 |
| 子育て  | <p>主婦(パートで介護の仕事)であります。銀行員、専業主婦、子育て(3人)をしてまいりました。子育てが終わったと思ったら親の介護と、自分の第2の人生とかそういう事にはまだきておりませんが、今日のテーマでは、主婦の定年というかその後の労働というか、一生涯働きつづいて終わるのが良いという受け取り感があります。できれば、主婦業が終わった方も力を発揮できる(子育てに関して身近な主婦に気軽に頼れる制度など)あればと思います。</p>              | 60代   | 女性 |
|  | <p>安心して子育てができる環境整備を希望します。出産育児については、多子世帯のヒアリングをする方が改善箇所が多く出てくると思います。毎日忙しく意見を出さず母親は少ないので。</p> <p>子どもにお金がかかりすぎるので、夫婦共働きでも子ども2人が精一杯。お金の心配がなければ、もっと産みたいという女性も多くいるので。大企業は環境(組合等)が整っているが、問題は中小企業。法律違反でも知らないで不利益をあたえても現状問われないのは問題。</p>      | 40代   | 女性 |
|  | <p>成功者の話ではなく、今現在問題が生じている人の意見を聞いてほしい。</p> <p>現在幼稚園の定員割れが多い。保育園の保育年齢を下げ、4歳から幼稚園を活用したらどうか。</p> <p>保育園ばかりではなく、母親がもっとわが子といる時間をつくるべき。子どもの成長に関し、今の子は睡眠時間が短い。(子供の成長を考えるべき)保育園の子22時に寝て6時に起きるが、幼稚園の子は8~9時に寝て7~8時におきている。</p>                   | 30代   | 女性 |
|  | <p>出生率1.8の実現のため、いろいろな政策が打ち出されていますが、一つ一つ大事であると思いますが、子育ての大変さのみが強調され、子育ての楽しさの発信が不足しているように思います。子どもはかわいいものです。</p>  | 70代以上 | 男性 |
|  | <p>男女関係なく、子育てに励むことのできる社会、地域格差なく、安心して暮らせる社会・若者が夢・希望をたくさん持てる社会になることを望んでいます。</p> <p>現在は高齢者や富裕層のみが優遇されているように感じます。子育てをしても、満足感・達成感がありません。日々厳しさを実感しています。また、子どもは赤ちゃんや未就学児だけではなく、小学生や中学生が放課後安全に活動できる場もたくさん作っていただきたいと思っています。</p>              | 40代   | 女性 |
|  | <p>子育て支援に関して、文科省が推進しようとしている「放課後子ども教室」の活性化が必要と感じる。自分の身近な小学校において、この教室への参加児童数が少なすぎると感じている。これは、学校側・行政側の取組不足と思われる。教室の内容充実が必要(教科・遊び及び回数増加)と感じ、これには、地域の高齢者の経験や意欲を活用できると考え、このことは高齢者の地域貢献にもつながると考える。地域による違いも大きいようであり、実態調査を切望し、改善指導を要請する。</p> | 70代以上 | 男性 |
|  | <p>・ テーマを掲げても、具体的に何をするのか、どういう効果をもたらすのかが国民に伝わっていないので、しっかり説明してほしい。</p> <p>・ GDP600兆円は必ず達成できると思うので、政府は規制緩和をしっかりと進めてほしい。</p> <p>・ 子育て支援を重点的に行わないと、少子化は止まらない。(奨学金も給付型にいち早く移行すべき)メリハリのある財政出動をお願いしたい。</p>                                  | 20代   | 男性 |
|  | <p>投票率のよい世代(団塊の世代)向けの政策が今まで多く実施されてきました。今後はよりみなさんを支えていくためにも、子育て世代の支援をより拡大してください。</p>   | 40代   | 男性 |
|  | <p>子供を産んだ人に対し、相当な社会の負担(国からの支給)出産数に応じて負担は未婚・子供を産まない世帯により大きな負担<br/>寄付の奨励と対応した顕彰制度の創設</p>  | 70代以上 | 男性 |
| <p>子供が産まれなければ、園はつぶれるだけ。今の国の少子化対策はまったく本気のように思えない。高齢者に3万円配る前に、保育園や子育て世帯への支援を増やすべき。消費税は早く上げて、子どもに支援をし、社会不安を少しでもなくしてほしい。</p> | 30代   | 女性    |    |

「一億総活躍社会の実現に向けたご意見・ご要望」(一億総活躍社会実現対話・東京 アンケート結果)

| 項目     | 意見・要望   | 年齢    | 性別 |
|--------|---|-------|----|
| 子育て    | 現在の日本のすべての問題を改善する源は少子化ストップである。金融を操作してもいろいろなかけ声をかけても人口が減る社会はすべて衰退するしかない。まず第一に選挙に女性のクォーター制の導入。男女各議員がほぼ同数になるまで実施する。女性の意思やアイデアを尊重するためには、強力にしなければダメ！男性が逆差別をうけるでしょう。第二に子育ての無償化。子どもに投資することは国家としても最大有効な投資です。義務教育の給食無料化、高校授業料無料化、国立大学授業料大幅引き下げ。非正規社員40%社会では、教育の負担を減らさないと、出産自体不可能です。OECDの中でも日本は最低の教育費比率、そのひずみがすでに教育格差になっている。高い教育を受けることは本人のためというより、より社会のためになっていること。教育の受益者負担ということはない。また女性は家庭という社会の仕組みやジェンダーの問題も根深い。教育、子育てに画期的予算がつかない限り、現状は変わらないでしょうね。【再掲】 | 60代   | 女性 |
|        | 女性が安心して子供が産めるよう、また子どもが産める年齢内に無理なく子どもが産める日本の社会環境の整備をぜひお願いします。そして、子育てしながらもしくは子育てが終わってから女性が活躍できる職場を増やしてください。【再掲】   | 50代   | 女性 |
|        | 正規社員と非正規の格差問題、雇用システムの改革にぜひ着手してほしい。子育て支援やブラック企業対策も。【再掲】  | 40代   | 男性 |
|        | 1. 介護施設で働く人の待遇改善により、人材の確保を進めることが緊急の課題である。<br>2. 非正規雇用社員の待遇改善が必要。企業は利益追求のみでなく、働く人にも分配還元していく指導が望まれる。<br>3. 待機児童の解消を進め、女性の職場を増やす必要がある。【再掲】   | 70代以上 | 男性 |
| 少子化    | 今日配布の資料の最後のページの東京圏の状況に東京圏の人口の推移がありますが、特に少子高齢化回りでは子どもを産む可能性の高いと思われる20代30代の人口が重要だと思うので、生産年齢人口をこういう表では使わないようにして、20代30代の人口減を可視化するようにしてほしいです。あと、土日休みのないサービス小売業など、休みの日が不定期でかつ休日も少ないという様な職が昔より増え、出会いにも影響があると思います。お金と時間を若者に与え、デート等をしやすくすると少子高齢化対策になるかと思えます。   | 30代   | 男性 |
|        | 最大の課題は少子化対策。提言施策は盛りだくさんあるが、プライオリティをつけ(テーマを絞り)ロードマップを明示し取組むべき。限られた予算をあれもこれにも配分しているため、効果も限定され遅々として進まない。司令塔を専任大臣をして2-3年モデルで取り組んだらよい。なお、税収増をこの施策にあてるのは反対。これは赤字国債の返済にあて、財政健全化すべき。これがないと国民は将来に対し安心感をもてない。将来不安があると、子育て(産み育てる)にプレーキをかけ、消費にもプレーキをかけると思う。   | 70代以上 | 男性 |
|        | 団塊世代のシルバーパワーも素晴らしいと思いますが、現状いまの若い人の職がなかったり、育っていないことは重大な問題だと思います。若い人が希望を持って社会にしていってほしいです。8歳の息子の将来を考えると不安です。格差是正のための社会システムの変換も必要です。少子化対策にもっと力を入れてほしいです。【再掲】  | 30代   | 女性 |
| 子供の貧困  | 日本の将来を担う子供の貧困状況は改善してください<br>女性が働きながら、家庭と両立は難しい。中小企業は十分に制度が活用されていない現状です。<br>国民が安心して生活するには、①日本が平和であること、②雇用が正規になれないと、活力が低下すると思います。生活の安定化、③世の中は公平ではないけれど、個々が尊重されることを望みます。【再掲】   | 無回答   | 女性 |
| ひとり親家庭 | ひとり親家庭の改善をしてほしい。特に父子家庭に援助が少ない。仕事があるからOKだろうと、子どもへのフォローが一般的に難しい。また2011年以前の遺族年金を助けてほしい。  | 40代   | 男性 |
|        | 本日の参加者は裕福な方が大半でした。現実的には、17%の子供家庭(シングルマザーの家庭)が貧困です。元の父親(20~30代)が養育費の負担能力がないからです。日本でも年々貧富の差が広がっているように思えます。日本人の労働の場の確保及び、賃金アップ。貧困家庭のフォローが必要だと思います。(参考)23区平均年収1位港区900万円、23位足立区300万円【再掲】   | 50代   | 男性 |
|        | ・本日登壇された保育・介護職現場は、賃金upにより、労働人口を増やすことを早急に！<br>・登壇することのない貧困格差社会という方々がたくさんおられます。母子家庭世帯に多いと聞きます。(シングルマザーとそのお子さん)<br>パート分野の同一賃金の引き上げを早急に進めてください。(奨学金制度の拡充は子供に借金を背負わせず)【再掲】   | 50代   | 男性 |
| 障害・難病  | バリアフリー法の対象をすべての建物・施設に適用させることです。いかなる事業者も障害者や様々な状況にある人々を採用できるよう、施設整備することを法整備することで、より多くの人々が社会で活躍できます。バリアフリー法と障害者差別解消法を一体化することです。小規模な事業所でどうしてもバリアフリーの解消が難しい場合、運用面での対応を課することで法的環境の中で障害者雇用の抜け道をなくすためです。また、すべての事業者の障害者対応の程度をランク付けし公表することです。(例:ランクがS・A・B・Cとある場合、Cではハローワークで募集できないなどのペナルティ政策が必要です)こういった具体的な政策がないと、中小の事業者はいつまでも「合理化」「経済性」を理由に現実に対して甘えが出ます。   | 40代   | 男性 |
|        | 障害者雇用率2.0%未達の事業所に対する罰金を段階的にあげてほしい。5倍~10倍にすることで、障害者雇用が増えると思います。  | 40代   | 男性 |
|        | ・障害者: 障害者を理解し受け入れる社会にするためには、子どもの教育の中でも、障害者と接点を多く作ることが必要<br>・「国民」だけでなく、外国人の力を使うことにより、活力あるすべての人が能力をいかせる日本にすることが可能と考える。外国人まで含めた総活躍社会が必要。   | 50代   | 男性 |

「一億総活躍社会の実現に向けたご意見・ご要望」(一億総活躍社会実現対話・東京 アンケート結果)

| 項目   | 意見・要望  | 年齢    | 性別 |
|--|--|-------|----|
| 障害・難病  | 雇用する側、利益を求め企業するのはよくわかります。ボランティアではないので、利益を求めるのはわかりませんが、介護の世界では、老人に対する国からの補助は目に見える形で少なくなってきました。障害児に対する2年前くらいからのデイサービスの補助は老人に対するよりも手厚くなっていますが、徐々に老人のようにしめつけがくるので・・・と不安を持っています。その度に雇用主からは様々な要求が変わり、人が去っていくの繰り返しとなります。老人に対しても障害者・児に対しても、これ以上しわ寄せがくることはない制度を望みます。弱者にやさしい政治を・・・でも、弱者らしく振舞うものを野放しにしないでほしいです。 | 50代   | 女性 |
|  | ①働きたいが働けない人への支援強化→障害者・家族の介護<br>②働けるのに働かない人への対応(高齢者の一部、生活保護受給者の一部など)→場合によっては、ある程度強制した意識変革等の訓練も<br>③職業差別観を取り払う(すべての職業は必要だからある)【再掲】   | 60代   | 男性 |
|  | 成長なくして繁栄はあり得ない。そして分離ありき。中小企業も良い知恵を出して、雇用の促進につとめていただきたい。障害者にも働く機会を与えていただきたい。生きがいのある社会の実現に向けて。ボランティアの受け皿が少ない。まだ認知されていないためか。結婚を機に会社を辞めると再雇用で同一賃金を得るのが難しい。その事態を打破できないものか。【再掲】  | 60代   | 男性 |
|  | 若い方への強みとなる社会をもっと明瞭にしてほしい。また障害者の方にも合う、今後も続いて安心生活できる社会を作ってほしいと感じた。【再掲】   | 10代   | 男性 |
| 高齢者  | 72歳の年金生活者。体力に自信はあっても、無職。毎日に生きがいを見つけるには、一定の収入がほしい。65歳以上の就労・雇用を募る方策実現を希望します。   | 70代以上 | 男性 |
|  | 多様な生き方がふえている中で、独身で雇用が不安定な女性も増えており、高齢になったら、年金の問題も出て、生きがいをもって生きる社会となっていないのではないかと思う。生きがいを持ち、死ぬまで仕事もでき、安定した社会になるように国を挙げて取り組んでほしい。「一億総活躍社会」実現にむけ、取り組んでほしい！加藤大臣の意見も聞きたかった。   | 60代   | 女性 |
|  | 70代80代で勤労意欲があり、健康体で、可能な仕事があっても年齢が邪魔をして就労できない現実があります。70代後半でハローワークに長時間職探しをしています。年齢がということで、仕事につくことができませんでした。ハローワークにも老年を対象にしたセクションを作り、情報を開示していただきたい。働きたい高齢者は数多くいて、仕事がないため、生活保護を受けている人がたくさんいる。地方行政及び国の財政を圧迫しているのではないかと。高齢者の活用法を柔軟な発想で我が国独自のシステムを確立していただきたい。   | 70代以上 | 男性 |
|  | 長寿の時代に社会保障関係は65才までの考えです。先にすべきことと思います。  | 70代以上 | 男性 |
|  | 私は後期高齢者年金のみで生活。息子は一流大学を卒業(8年かかる)普通の仕事にはつまずき、生活できるような収入を得ることは無理で、国民年金は私が支払っている。しかし、29年で私の年金基金が破たん。余裕がなくなりそうです。自立を支援ができれば、安心です。誰か助けてほしい。   | 70代以上 | 女性 |
|  | 安倍総理も腸で苦しんでいるようですが、今の農業は農薬・化学肥料で栽培された農産物です。腸内細菌が腸に住みづらくなる農作物ばかりです。健康な体は食物と運動であり、高齢者には食物を自給自足こそが介護いらずで健康長寿である。  | 70代以上 | 男性 |
|  | いつまでも働ける社会環境をつくってください。   | 60代   | 男性 |
|  | いびつな人口ピラミッド。人口減少。労働力の減少が問題ですが、65歳以上を潜在的な労働力としてぜひとらえていただきたい。24歳で結婚、25歳で出産し、子どもが9ヶ月で再び職につき、サラリーマンの妻としてパートアルバイト、正職員、委託としての個人事業主。そして、38歳で離婚してからは、一家の柱として働き続けて現在は53歳。そろそろ老後を見据える年代となりました。年金の支給額は9万強だそうです。このままでは生活が成り立ちません。ぜひ求めるならば、高齢者にも仕事を与えてください。そのためには政府には、一に二に経済対策を行っていただきたい。景気が悪くなれば、仕事もなくなりますゆえ。    | 50代   | 女性 |
|  | 定年を迎えて働きたい人でも必ず老害である人もいると思うので、採用には周りの人からの意見を聞いて適材適所に配属させることが生産性をあげるポイントだと思う。   | 50代   | 男性 |
|  | 高齢者でも、元気な方はシルバーセンターなどにどんどん進んで参加勤務されるのが、とてもよいと感じました。  | 60代   | 女性 |
| ・格差社会をなくしてほしい<br>・非正規をなくして極力正社員を増やすようにしてほしい<br>・高齢者の雇用を増やすようにしてほしい<br>・年齢制限を禁止してほしい<br>・雇用の格差をなくしてほしい<br>・直接雇用の法整備をしてほしい<br>・最低賃金を最低1000円以上に早急に引き上げてください<br>・雇用の格差をなくしてほしい。雇用形態の見直し、事前に事務局に封筒にて小論文を提出してあります。ぜひお読みになってください。【再掲】 | 60代  | 男性    |    |

「一億総活躍社会の実現に向けたご意見・ご要望」(一億総活躍社会実現対話・東京 アンケート結果)

| 項目  | 意見・要望  | 年齢  | 性別 |
|-----|--|-----|----|
| 高齢者 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活躍社会の実現は、働けるものは全員働きましよう、生産を増やそう、お金をかせぎましよう。まさしく働く場所の提供ではないか。安定した場所づくりをお願いしたい。</li> <li>・ 職場の格差の是正、又最低賃金1000円の実現の約束</li> <li>・ 教育にお金がかかりすぎる対策を。子育てと勤めの両立の難しさ</li> <li>・ 65歳定年導入の強化</li> <li>・ シルバー人材センターの活用</li> <li>・ 介護職員は社会福祉法人なので、地域の奉仕活動に参加するよう要請【再掲】</li> </ul>    | 60代 | 男性 |
|     | <p>女性の職場復帰については、子どもの託児所不足だけでなく、復帰して業務をこなせるか(能力面において)という不安もある。復職にあたってのキャリア支援的な施策があるとありがたいです。</p> <p>また、今どきの60代は非常に活たつ。まだまだ企業で働ける能力があるし、認知症防止にも役立つので、シニア活用施策も推進してほしい。【再掲】</p>  | 40代 | 女性 |
|     | <p>働く女性の育児等の支援や復職に伴う本人の希望(勤務時間や休日のとり方)を企業が早急に取組む必要性を感じた。また働く女性の子供を預ける保育園の保育士の処遇や働き方の改善も必要だと感じた。65歳以上の方も生きがいのある仕事や活動ができる場がたくさん必要だと感じた。制度も大切だが、自分たちの意識、考え方を変えていく事が大切だと感じた。【再掲】</p>   | 20代 | 男性 |
|     | <p>待機児童の問題は都市部と地方とは問題点が違います。同じ考えでとらえていくのは違うと思います。地域間特性で法を整備してもらいたい。放課後児童クラブ支援員として、シルバー人材を活用していく事がプラス方向へいくのでは？</p> <p>高齢者の就労については、週3日程度で検討が必要(健康管理その他の問題で)【再掲】</p>  | 60代 | 男性 |
|     | <p>雇用する側、利益を求め企業するのはよくわかります。ボランティアではないので、利益を求めるのはわかりませんが、介護の世界では、老人に対する国からの補助は目に見える形で少なくなってきました。障害児に対する2年前くらいからのデイサービスの補助は老人に対するよりも手厚くなっていますが、徐々に老人のようにしめつけがくるのでは・・・と不安を持っています。その度に雇用主からは様々な要求が変わり、人が去っていくの繰り返しとなります。老人に対しても障害者・児に対しても、これ以上しわよせがくることはない制度を望みます。弱者にやさしい政治を・・・でも、弱者らしく振舞うものを野放しにしないでほしいです。【再掲】</p> | 50代 | 女性 |
|     | <p>道又さん、福森さんのように恵まれた条件の会社は良いが、古い体質の企業をいかに恵まれた会社にしていくかが重要。そのための政策・行政・社会意識導入が必要と思う。</p> <p>高齢者が働きたい(70%)の調査結果の背景には、収入の安定と老後に未来が見えないところがあると思う(年金収入がなく、働かざるをえない)</p> <p>報酬がなくても社会とかかわりたい、楽な仕事だけしたい、会社では働かたくない、等々</p> <p>高齢者の要望は、様々なので、選択肢をできるだけ多くしておくことが重要と思います。</p> <p>財政再建(健全化)、格差是正、未来への希望が持てる社会、財務省頑張れ!【再掲】</p>  | 50代 | 男性 |
| 介護  | <p>介護の現状についての正確な知識、理解のために、情報発信をよろしくお願いします。</p>   | 40代 | 男性 |
|     | <p>私自身年間で200法人以上の介護施設をまわっておりますが、根本的な原因として、介護施設運営所の7割を占める社会福祉法人の経営能力の低さを感じております。様々な施策を国が用意しても、それを活用する側が運用しきれていないのが現状です。(介護職の処遇加算も実際に享受しているのは1/4以下というのがわかりやすい事実だと思います)対処療法的な施策もそうですが、経営努力し結果を出している法人に光を当てる、インセンティブを与える仕組みが「福祉」の領域にも必要だと強く感じます。私が35年後おばあちゃんになってこの日本にいたいとおもうような政治的なアクションを強く期待しています。</p>              | 20代 | 女性 |
|     | <p>専門学校の教員です。人が生まれ成長し社会に出てその後人は必ず老いる。そして最後を迎えます。子育て、労働、結婚となった時も、住み慣れた地域ですべての人が安心してその人々の暮らしを実現させてほしいです。特に介護でいえば、介護人材不足だからと言って、量だけの視点ではなく、キャリアパスのしくみをしっかり実現させてほしいです。そのためのリーダー的存在を養生教育でしっかり2~3年教育していきたいと思っています。そして介護は決して3K(きつい・きたない・きゅうりょうやすい)ではなく、感謝・感動・感激のポジティブなイメージになるよう国としても伝えてほしいと思います。処遇改善もぜひお願いしたいところです。</p> | 50代 | 女性 |
|     | <p>自分も特別養護老人ホームに勤務しております。介護の仕事につく介護士が不足しています。当ホームでは看取り(ターミナルケア)も対応しており命がつきる最後まで見守っています。まだまだ介護士の待遇改善をお願いします。(給与が安すぎます)</p>  | 40代 | 女性 |
|     | <p>「介護離職ゼロ」を目指すのであれば、介護関係職員の確保が必須である。そして確保のためには、待遇改善、特に給与アップが必要であると考えます。もう少し「介護を利用する人」についても目を向けてほしいものです。</p>   | 40代 | 男性 |

「一億総活躍社会の実現に向けたご意見・ご要望」(一億総活躍社会実現対話・東京 アンケート結果)

| 項目                                | 意見・要望  | 年齢    | 性別 |
|-----------------------------------|--|-------|----|
| 介護                                | 今後高齢者が増えると思いますが、介護をする人が少なくなっていると思います。増やすにはお給料を上げるなど工夫をしたらよいと思います。そして高校からもこういったことを学べるようにしたら良いと思います。   | 10代   | 女性 |
|                                   | 待遇改善が可能な業種とできない業種(介護職)の格差が広がらないようにするべきですが、人の分散が必要としました。  | 50代   | 男性 |
|                                   | 特別養護老人ホーム内での健康保険の適応制限をなくしてほしい。   | 40代   | 男性 |
|                                   | 「介護離職ゼロの実現」に感心がありました。地方と都会との格差があり、検討の必要性を感じました。  | 70代以上 | 男性 |
|                                   | 高齢者のデイサービスに勤めています。要支援の方や比較的元気な方には畑作業をアドバイスしてもらいながら行っています。御本人がいろいろな主体的に関わるようになってとんどん元気になっていきます。収穫できたものでデイサービスの皆様に収穫祭をして、調理や盛り付けなども女性で行ってもらっています。御本人がどのような状態になったとしても、必要とされる人、活躍できる場があれば、輝いていきます。認知症の方も子供を見るだけで、笑顔になれます。私は高齢者と子供と一緒に過ごせる場を作っていきたいです。(富山型といわれるモデルです)<br>介護と保育が一体となり、地域に安心して高齢者や子供たちの声が出せるように、それを支える介護職員、保育士の賃金を上げてください。また、富山モデルへの助成をお願いします。【再掲】  | 40代   | 男性 |
|                                   | 1. 介護施設で働く人の待遇改善により、人材の確保を進めることが緊急の課題である。<br>2. 非正規雇用社員の待遇改善が必要。企業は利益追求のみでなく、働く人にも分配還元していく指導が望まれる。<br>3. 待機児童の解消を進め、女性の職場を増やす必要がある。【再掲】  | 70代以上 | 男性 |
|                                   | 私は看護師として、現在求職中です。前職は保育園看護師でしたが、現場保育士の人手不足で看護職より保育が事務職の補助が多くなり、結果自分の仕事は持ち帰りやサービス残業という形でした。<br>長年の努力により、看護職はずいぶん底上げされましたが、それでも看護職・介護職・保育職は厳しい状況です。<br>いくら補助金を増やしても職員には反映されていません。<br>社会福祉法人は“おいしいお金稼ぎ”となっています。監査の見直し等、もっと現場が働きやすくなるよう考えてください。そうでなければ、介護も保育も伸びることはできません。私が勤務していた法人は経営者の個人の引越に職員を使うようなところでした。いまだにこんな職場もあり、驚きました。【再掲】  | 50代   | 男性 |
|                                   | 非正規雇用・女性の活躍においては、それを支える保育士さんの待遇改善が急務なのではと思いました。<br>一方、今後確実に増えていく介護人口の対応も必要と感じました。優先順位をつけ、今後の政策が有効的に働いていくことを期待しています。このような機会をいただき、ありがとうございました。【再掲】   | 20代   | 女性 |
|                                   | 今日託児サービスにあずけた0歳児がいますが、今月の都内の保育園一次選考にもれ、今は将来が不安です。両親が70と80代でダブルケアのため、今は仕事のつながりが切れないよう細々としか働けません。シングルマザーなので、今のうちに子供の学費を貯めたいのに、保育園に子供が入れればしっかり働けより納税できます。安心して必ず預けられる保育園(イベントや役所仕事を減らして子どもと向き合ってくれば十分)と保育士の常識的・人間的待遇のためならば、もっと税を払ってもいいのですが。私はフリーランスのため、育休・有給はなく、実力と信頼のみで仕事をもらっています。今の日本は少子化になるべくしてなったわけで、それはなぜか、長期的ビジョン・政策が解決には必要。無駄で経費のかかるばらまきは何の役にも立ちません。その分、保育士と介護士待遇と条件を改善してあげてください。命に関わる大事な尊敬をされるべき仕事です。同時に、「教育」以外の負担が小中学校の教師にのしかかっている現状も変えるべきです。第二、三子の前に第一子を産むハードルが高いんですよ。<br>税を一律であるのはおかしい。明らかな趣向品は高く、生活必需品や育児教育・介護品で必須のものは税率を低く、または0%にすべき。【再掲】 | 40代   | 女性 |
|                                   | アベノミクスをただちにやめること。年金改善、マクロ経済スライドの中止。生活できる年金水準の保障。医療、介護、年金の保険料の軽減、国民負担の軽減。保育、介護などの福祉施設の利用料無料。保育・介護の労働者の処遇改善と質の保障。急激な受け皿の拡大は働く人の平均勤続を下げる。職場からベテランがいなくなる。【再掲】  | 40代   | 男性 |
|                                   | ・本日登壇された保育・介護職現場は、賃金upにより、労働人口を増やすことを早急に！<br>・登壇することのない貧困格差社会という方々がたくさんおられます。母子家庭世帯に多いと聞きます。(シングルマザーとそのお子さん)<br>パート分野の同一賃金の引き上げを早急に進めてください。(奨学金制度の拡充は子供に借金を背負わせずよ)【再掲】   | 50代   | 男性 |
|                                   | 高齢者の老人ホームと幼児教育を行う施設が一体化してはどうかと思う。なかなか田舎の祖父母と会えぬ幼児にとって高齢者との接触は人生の学びの一つになる。また高齢者にとっても自分のまごのような存在と触れ合うことで、若返り、生きがいにもつながるのではないか。昔の日本では、自然とそういった高齢者と子供の接点があったはずだ。都心部でくらす若い世代の夫婦にとっても高齢者の存在は有難いものになると思う。【再掲】   | 30代   | 女性 |
| 介護、保育、看護師等の身分保障の充実をはかってもらいたい。【再掲】 | 70代以上  | 男性    |    |

「一億総活躍社会の実現に向けたご意見・ご要望」(一億総活躍社会実現対話・東京 アンケート結果)

| 項目   | 意見・要望   | 年齢    | 性別 |
|--|---|-------|----|
| 介護   | 教育：大学入学時に専門を選ばなくてはならない大学が多い現状は改める必要があると考える。適性や興味関心の不一致を簡単に是正できる仕組みにしてほしい。<br>介護：都市部の介護職員の待遇改善の必要性はわかったが、それは地方からの人材流出を加速させる負の側面もあると感じた。<br>初等教育をもっと重視すべきだと思う。高学歴化政策を取り下げ、予算を小学校教員の維持・拡充に結びつけてほしいと強く思う。大学などでもこのような会を開いてほしい。<br>【再掲】   | 20代   | 男性 |
| 地方創生   | 個人的考えとして、保育所・介護の問題が起こった理由として、企業の東京への一極集中からくる核家族の増大によるところにあると思います。たとえば、子どもにしろ、年若い家族にしろ、それを働き盛りの30～50代の夫婦のみにゆだね、結果今の保育所不足、介護施設不足につながっていったのではないのでしょうか？子育てや介護をもっと地域や親せき一同でみられるような社会を作りたいと思います。そして、各地方にもっと力をつけてもらうべきだと思います。そのためには、たとえば、日本国内のネットワークインフラを強化し、官公庁の地方分散、大企業といわれる企業の地方移転促進、各団体の3月決算の集中解消、職業差別の撤廃をするのがいいのではないのでしょうか。大変なことは多いと思いますが、今の日本ならできると思っています。 | 30代   | 男性 |
|  | 一億総活躍社会実現には地方(自治体)との連携も必要と思いますが、どうなっているのでしょうか？  | 70代以上 | 男性 |
|  | ・手帳取れない難病者への制度、難病者に対し、障害者雇用率の認定<br>・中途発症者に対しての制度<br>・東京都以外で働く人の時給増⇒集中化防止<br>・難病者及び障害者に対しての雇用時の年齢制限・廃止<br>・性別や年齢による雇用差別撤廃<br>>資格が取れないと職業できない<br>>書類選考廃止⇒ガセ求人票が出回っている。【再掲】  | 40代   | 男性 |
|  | ・国に頼るのではなく地域で少子化・介護の問題を解決できる社会を作りたい。<br>・人口の一極集中が続いています。地方に魅力的な仕事や目を向ける方法をしてほしい。<br>・若い人の教育、特にIT・科学への力を入れてほしい。【再掲】  | 40代   | 男性 |
|  | 現在政府の政策として“地方創生”もありますが、地方創生と一億総活躍は全く別の話ではなく、相互につながる部分があるのではないかと感じます。ちょうど昨日、渋谷ヒカリエで“地方創生フェス”というイベントがありましたが、こういったイベント等も含め、縦割りではなく、連携して一体となった活動を行ってほしいと思います。<br>出産・育児・介護の面では、ITを活用した在宅ワークなどが有効な場合もあると思うのですが、現状では、就業管理や人事評価、必要なITへの投資でどうしたらいいか困っている(悩んでいる)企業が沢山あります。こういった企業に対して、早く指針等が示せるように、政策をスピードアップさせてほしいと思います。【再掲】                                       | 30代   | 男性 |
| 8年間旅行会社で総合職正社員として勤務し、結婚による転居のため退職しました。その後、長女を出産し、主人の転勤に伴い東京に引っ越してきました。長女が1歳になったことをきっかけに働こうとしましたが、許可・認証保育園の入園は到底無理でした。役所からは無許可またはベビーシッターにあずけてポイントを上げれば許可に入れる可能性があるといわれたのは、たった1年半前です。企業に在籍して育休を取った人だとポイントが高いのだと、私のような人はずっと機会がまわってきません。保育園を増やせばいいが、解決法ではないように思います。地方では、保育園の苦勞は少ないようです。企業の東京一極集中を緩和し、本社を地方に分散させるなどで、地方の過疎化問題と待機児童の問題が緩和されるのではないのでしょうか。【再掲】 | 30代   | 女性    |    |
| その他  | 一人一人が前向きに考え、明るい社会を実現できるようにできたらよいと思った。   | 40代   | 男性 |
|  | “一億総活躍”を本当に実現するためには、家庭・地域・職場などで生きがいを持っていない人が、なぜ持てないのかを理解することが必要だと思います。今は、健康で居場所を持っていて生きがいを感じられている人でも、病気や介護といった出来事で状況が一変することもあります。何かあったときに、誰に助けを求め、どこに相談できるのかを明確にすること、それを周知することがまずは必要だと思います。生きがいを持ってなくても、生きているだけで精一杯という人は多いと思いますし、そういった人はなかなか自ら動くことはない(動けない)と思います。それを理解した上で必要な支援を考えてほしいです。   | 20代   | 女性 |
|  | 国がなにをするか？の前に国民ひとりひとり本気で社会に貢献するか？が大切。内需拡大⇒外貨獲得してゆく技能をどう国民に養成していくかの仕組みにかかっている。  | 50代   | 男性 |
|  | 私が考える“一億総活躍社会の実現に向けて・・・”と題して、ご提案書を別添提出申し上げます。ぜひとも、加藤大臣様にご一読願います。何卒宜しくお願い申し上げます。   | 60代   | 男性 |
|  | 度を越えていないしょうがないことは受け入れることが重要だと思いました。   | 20代   | 男性 |
| 日本に住むひとりひとりが力を合わせて、活躍社会を築くという自覚を持って努力していきたいです。明るい、健康な日本、世界になるようにひとりひとりが努力していきたいです。本日はありがとうございました。  | 70代以上   | 女性    |    |

「一億総活躍社会の実現に向けたご意見・ご要望」(一億総活躍社会実現対話・東京 アンケート結果)

| 項目   | 意見・要望  | 年齢    | 性別 |
|--|--|-------|----|
| その他  | 制度ではなく、文化を変えていこうという言葉がよかった。政府はもっと国民にやってほしいことを発信し、半強制してもよいと思います。たとえば、地方に移住させる等。こんなメリットがあるんだよとか。   | 40代   | 男性 |
|  | 一億総活躍社会の具体的なイメージがわからない。言葉だけが先行しているような気がする。   | 60代   | 男性 |
|  | 自民党の方向性と公明党のものが一致していない。どちらかという、足を引っ張っている。決別を考えるべきでは。   | 60代   | 男性 |
|  | 3本の矢を実現化するよう最善のご努力をお願いしたい。   | 70代以上 | 男性 |
|  | 弱者保護だけでなく、強者をさらに強くする(グローバルな戦いに勝つため)政策を展開していきたい。  | 30代   | 男性 |
|  | 参加者の意見はあらかじめ出してもらっていたら、よかったかも。ペットボトルを持ち込めない理由を聞いたら、きちんと答えられないスタッフはだめですね。自分の職務に責任と理解を持ちましょう。  | 50代   | 女性 |
|  | 国民ひとりひとりの意識改革の政策の推進が必要である。   | 60代   | 男性 |
|  | 安倍総理のスピーチで言及のあった包摂的社会の実現に今後日本が世界に発信していける可能性を持つ重要なメッセージだと思いました。折しも昨年9月に国連で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」は世界のすべての国が取り組む、国際的な目標ですが、日本のノウハウや取組がきっと他国における様々な社会、経済、環境の課題の解決に貢献するのだと思います。一億総活躍社会実現の取組が国民社会の課題解決にも資するようになることを期待しています。   | 40代   | 男性 |
|  | 請願権をいいかえた事です。請願権成就実行規定を作れば実現します。   | 30代   | 男性 |
|  | 今回の対話がいわゆるアリバイ作りに終わらないように、具体的施策に活かしていただきたい。意見交換に登壇された人数(12人)が多かったのではないかと思います。ひとりひとりの話を聞くだけで、時間がほとんど終わってしまったのは残念です。   | 50代   | 男性 |
|  | 「おもてなし」を忘れた日本人は活躍社会が消えた。人を喜ばせる、人を楽しませる、人を活かす「おもてなし」の世界ならばみな活躍できます。まず自分から人の喜ぶ楽しい、活かすことを自分からやることこそが一億総活躍社会がつけられますが、今の若い人は評価を求め、成果を先に求めている様子で「・・・残念な結果になっています」明治の時、日本に来た外国人はみな日本人の「おもてなし」に感動し、不思議がっていました。まず自分からどうぞと家に入れ、足を洗って上がるとお茶が出て、食事が出て、酒が出て風呂に入れてくれて、布団をひかれ、泊めてもらう。この民族は何者だと不思議がっていました。まず自分を中心に「おもてなし」の精神で活躍社会を作っていくようでないか・・・何かの縁で入った会社の場で「おもてなし」精神で皆ががんばれば達成できるでしょう。人に求めるのではなく、自分は何ができるかを考えていききたい。 | 60代   | 男性 |
|  | 1.投資とリターン(経済成長)を明確にしてください。<br>2.恒久財源確保の具体的なめどを示してください。その範囲での施策の復元、順位を明確にしてください(官の直接関与は極力小さくしローコストを目指してください)<br>3.ロードマップと明言化するとともに、マイルストーンとなる節目を明らかにすることと、明確に官民がその進捗も成否の状況について情報共存できるように心がけてください。   | 50代   | 男性 |
|  | LGBT(レズビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダー)の社会活動への参加についても、当事者の意見が聞きたかった。教職員の残業代がないことと、部活顧問の強制で、学校現場の教職員が弱っている。教職員の話も聞きたかった。   | 30代   | 男性 |
|  | 企業が高収益を得られるような社会にしてほしい。コスト競争しかなない体制を変えるべきである。「金は天下のまわりもの」になっていない。  | 50代   | 男性 |
| パネラーの方々はどのような基準でえらんだのでしょうか?実際に働いていない学生の話まで聞きたくないです。私は介護の現場で働いていますが、理想と現実の違いはあります。理想ばかりのお話はいいですね。社会で現役で働く子育てをする中心世代を中心に話と意見を聞きたかった。 | 30代  | 女性    |    |
| 相互理解の深化と支えあい为实现のキーワードと考えます。  | 50代  | 男性    |    |



「一億総活躍社会の実現に向けたご意見・ご要望」(一億総活躍社会実現対話・東京 アンケート結果)

| 項目   | 意見・要望   | 年齢    | 性別 |
|--|---|-------|----|
| その他  | 撮影NGと最初に言われたのに、日本語を理解しない人が多い。日本のモラルは下がったな。  | 30代   | 女性 |
|  | このような機会をもっとふやしていいと思う。登壇者だけでなく、来場者を含めてディスカッションをしてほしいと思いました。  | 10代   | 男性 |
|  | 総理の実直な考えを聞く機会があって、非常に良かったと思う。SP職員と一言会話できた。  | 70代以上 | 男性 |
|  | 正直期待していません。リベラル性に欠けている。ネットアウトが活躍しすぎ、非国民なものも一億総活躍の枠内にいるのだから。   | 40代   | 男性 |
|  | 多様化する国民・市民の声を聞き、必要な政策を必要な時に進める仕組みを考える必要があるのではないか。   | 30代   | 男性 |
|  | ・一億総活躍社会について3本柱がかかげてありますが、私は2番目のひとりひとりが個性を多様・・・にすべて集約されていると思います。一番の若者の高齢者も・・・3番目の強い経済の実現・・・等が裏打ちされているからです。<br>・2番目の後半のそれぞれが生きがいを・・・とありますが、子どもも大人もすべての人に「いじめ」あっては何事も駄目です<br>・私は定年退職後、社会教育指導員・教育相談員・まなびすと指導者バング活動推進会議の副会長をしておりますが、いろいろな経験をするなかで、子どもだけでなく、大人もいじめにあっています。<br>安全・安心な活躍を願っているものとして、「すべてのいじめをなくさなければ、何もできない」と強く思っています。よろしくご検討のほど、お願いいたします。 | 70代以上 | 女性 |
|  | うまくいっている人の話だけでは、問題のあるきびしい状態の人の問題の洗い出しで制度等変えることが大事。  | 60代   | 男性 |
|  | 劇的な生産性向上には、破壊的イノベーションが必要不可欠と考えます。   | 30代   | 男性 |
|  | ・安倍首相のマイクの音量が小さかった。<br>・社会人現役世代の人の意見もほしかった。<br>・会場の整理、誘導をもっと手際よくやってほしい。うしろからつめるのはおかしい。  | 20代   | 男性 |
|  | 総花的、抽象的なネーミングより、具体的なものが必要。保育所を多く作りなさい。議員自ら給料にあった働きをしなさい。それがいいから「クソ日本死ね！」などと批判されるのだ。国民は安心がほしいのだ。生活がかかっている多くの人がこたに貧困の人々が大きな安心を必要としているのだ。わかってほしい。国会議員の皆さま。庶民の願いである。即断即決、これが一番となる。  | 50代   | 男性 |
|  | 成長に加え、子育て・介護が挙げられているが、それぞれではなく、一つの世帯の中で共存するものであるため、世帯としての生活課題として、とらえられるような政策が必要と考えます。   | 40代   | 男性 |
|  | 何もかも国に依存する社会はもうそろそろ改める必要がある。欧米と比較して、この点を感じています。<br>たとえば、大学、アメリカもイギリスもおもな大学は私立。日本は国立。これは自分たちのため。子どものこと後輩のことは自分たちで守るという考えが薄い良い事例だ。国立大学OBは母校のために後輩のために寄付しているだろうか？これを改めてここから活躍社会が生まれればと思う。  | 70代以上 | 男性 |
|  | 著名な方だけでなく、たとえばマンションの管理人さんのように目立たない仕事をしている人にも登壇してほしいと思います。   | 70代以上 | 男性 |
|  | 参加者は、政府に善政を懇願し政府は「しっかり取り組みます」と答える。「鼓腹撃壤」帝王がどうであろうと、自分は生き抜くという人が大事。  | 70代以上 | 男性 |
|  | PDCAを回す必要があるため、2~3年ごとにチェック改善が必要と考えています。   | 40代   | 男性 |
| 役人が「おまえたちも仲間に入ってや」という根性をなくす。とにかく出入り自由の場をつくって、あと出入りする奴の好きに。金や仕事はそこから自然とでてくる。  | 50代   | 男性    |    |
| スローガンは「上から目線の押しつけ」のように感じるので、改めた方がよいと考える。個人の尊重を軽んじているように感じる。  | 40代   | 男性    |    |
| 総論は賛成です。具体的に国は何をいつまでにやるか、明示して、直接定期的に第三者がチェックして着実に進めてほしい。   | 40代   | 男性    |    |
| 1. 個人で安全装置開発しましたが、普及することができず残念。<br>2. 開発員等すべて個人(一人)<br>3. 私は長野県(二人、兄、私) 兄は果樹園(小さい果樹園) 私の定年後、安全な作業ツール作ってくれ。<br>4. 青森まで12回出向きJA窓口⇒専用農家施策作っていただき、安全評価をいただいています。<br>5. 自己資金も予定おりオーバーしており、どうにもなりません。是非検討していただきたい。 | 70代以上   | 男性    |    |

「一億総活躍社会の実現に向けたご意見・ご要望」(一億総活躍社会実現対話・東京 アンケート結果)

| 項目  | 意見・要望  | 年齢    | 性別 |
|---|--|-------|----|
| その他   | ありがとうございました。   | 40代   | 男性 |
|   | 国会議員ひとりひとりが本日のような対話をしてください。選挙の時だけくるような議員はいらない。   | 40代   | 男性 |
|   | 夢を持てる社会にぜひ。  | 50代   | 男性 |
|   | この機会をもっと増やしてほしい。   | 70代以上 | 女性 |
|   | もっと具体的に！！一問一答の場をもっともっと！設けてほしかった。リアルな話は大事です。LINEで期間限定で意見を募ってほしい。いい案が出てきますよ。   | 30代   | 女性 |
|   | 言葉の一人歩きが進んでおり、中身が見えにくい。何を「総活躍」とするのか、政府は明確にして、我々が取り組めるようにしたほうがいい。   | 40代   | 男性 |
|   | 14年に経産省が大手企業OBのうち、改善に携わった方たちに教育を行って、中小企業のニーズとマッチングさせるといった構想があったようですが、これらの仕組みが拡大するとういいますね。  | 60代   | 男性 |
|   | 登壇者との対談&質問で、それを参考にして、加藤勝信大臣と安倍晋三総理はバックアップをしてもらいたい。   | 60代   | 男性 |
|   | 「一億総活躍」を掲げるならば、子育て中の女性だけでない。夢ある学生たちだけでない。障害者・高齢者・保育／介護等従事者だけでもない。実に多様な人々を相手にする覚悟が必要です。まだまだ声なき人々がいることが今回改めて実感できたので、それらを汲み上げるしくみが必要だと感じています。                     | 20代   | 女性 |
|   | 短時間で実現できることではなく、着々と進めてくださっておられる上に国民一人一人理解していくべきと思っております。以前に比べどんなに世界とプライドをもてる日本になっているか振り返ってみるべきだと思っております。   | 70代以上 | 女性 |
|   | 今回こういったセミナーには初めて参加させていただきました。社会のことを他人事ではなく、自分のこととして考える良い機会になりました。今後もチャンスがあれば、参加したいです。ありがとうございました。  | 20代   | 女性 |
|   | 保育や介護といった「国民の人権保障」にかかわる分野について「経済システムの構築」という視点で論じられていること自体が誤っていると考えています。社会保障(社会福祉)を「自助・共助が基本」として、憲法25条を破壊するような考え方をもとにしては、すべての国民が安心して暮らしていく社会は実現できないのではないのでしょうか。 | 50代   | 男性 |
|   | 安倍総理、加藤大臣あてに差し上げた手紙と拙著の本の通りで、少子高齢国のリーダーであるべき日本は連例の活用法をもっと深く考えるべき。  | 70代以上 | 男性 |
|   | このスローガンが広く国民に受け入れられるかどうか、現今の諸問題を具体的なプランを示さないとかけ声だけに終わりそうな感じをもっている。   | 60代   | 男性 |
|   | 加藤担当大臣の考え方をもう少し時間をとって話をさせていただきたかったです。  | 40代   | 女性 |
|   | アベノミクス、一億総活躍社会、キャッチコピーを大々的にうたいあげて具体策について十分に説明しない(できない)という手法はいい加減やめてもらいたい。  | 50代   | 男性 |
|   | 一億総活躍社会のお題目のみが先行してしまい中身が見えません。一人一人に丁寧に説明していただくことを望みます。   | 50代   | 男性 |
|   | 一億総「天下り」社会を実現する。<br>天下りに対抗して、「天上市」！！一般市民が向上した地位につけるまたとないチャンス！！(大臣も可能)<br>天上市で総活躍できるのではないか。天下りで税金の無駄遣いするな！！   | 40代   | 女性 |
|   | 継続して開催してほしい。   | 40代   | 男性 |
|   | 各部門の担当者の意見を聞き、不足部分については、首相からは担当者を満足させる方策をお願いしたいと思います。  | 70代以上 | 男性 |
| 私の場合は、10年以上学習・趣味でのホームページの閲覧が仕事に活用できる状況となりました。無料で大変質の高いセミナーに多数参加させていただいていることも大変役立っております。心より御礼申し上げます。今後とも何卒切によろしくお願い申し上げます。 | 40代  | 男性    |    |

「一億総活躍社会の実現に向けたご意見・ご要望」(一億総活躍社会実現対話・東京 アンケート結果)

| 項目   | 意見・要望   | 年齢    | 性別 |
|--|---|-------|----|
| その他  | 現在地域に残されている古文書の消失が問題としてあります。過去の消失は今現在つながるものがないものがあります。そして、これらのものに携われるのは、学芸員といった一部の専門家に限られ、市民の方は博物館の展示で目にするだけなど受け身の学びに限られる場合が多いです。過去の情報を残す場に、より一般の方の参加がしやすい環境を整えるべきだと思います。   | 20代   | 男性 |
|  | 今日の話の中でも人が足りているところ、足りないところのミスマッチがあり、制度・仕組みで解決できることがあるのではないのでしょうか？   | 40代   | 男性 |
|  | 生活保護者の活躍<br>精神病者と健常者との差別のない社会の実現<br>物価がおなじ一級地の生活扶養を三級地ほぼ同額にして差別をなくす<br>子供手当の廃止による消費税・増税の延長  | 40代   | 男性 |
|  | 「一億総」と名付ける限りはしっかりと現実を反映した対象者、特に低いレベルの人々にスポットをあてるようにしていただきたい。  | 50代   | 男性 |
|  | 大企業は高待遇。  | 20代   | 男性 |
|  | ひきこもり等を表に出す施策はいかがですか？外国人雇用の協力を目指すべき。  | 60代   | 男性 |
|  | 多様な働き方に加え、おそらく現場も今後も外国人の力は必要と思われます。しかし、そこに対しての対策は、ほとんど真剣に議論されていないのと、「一億総活躍」と言う言葉そのものがドメスティックで全くグローバル化に対応していないように想像されます。もはや被労働人口減少は待たなしの状況であり外国人登用の門をもっと広げていくことが急務であると思います。どんな人でもチャンスがあると思える自然に皆活躍できる場を見つけていけると思います。有り難うございました。                          | 40代   | 女性 |
|  | 一億総活躍イコール皆で田を耕し、果実を生み出し、豊かな環境に包まれた老後をいきましょうということだと思います。労働の入り口とで出口といいますと、出口規制にはあまりにも大きな障害がありすぎます。マクロではなく、ミクロな部分で規制強化が必要だと思います。   | 60代   | 男性 |
|  | 一億総活躍社会の実現のためには日本の社会そのものが世界の中でもつ積極的価値や社会を維持発展させていくことの積極的・肯定的な意味をより明確に打ち出すべきだと思います。人口や労働力が減少していくのでその対策を云々するのはもちろん必要なことであるが、それのみでは国民がこの運動に対する受け止め方が受け身的ものにとどまり自らが積極的に関わっていくという姿勢やモチベーションに欠けたものとなり盛り上がらないものに終わる懸念があると考えます。上記は本来であれば最初に議論されるべきものであったと考えますが。 | 70代以上 | 男性 |
|  | 活躍、包摂、歯止めなど、感覚的な表現ではなく、直接的な表現をしてほしい。  | 50代   | 男性 |
|  | 等理( inter Human?? ) 建設的に考えてみますと。  | 無回答   | 男性 |
|  | 消極的、しずかであることを認めあう社会を。普通の人々の当たり前前の生活を守ることが最も重要。  | 60代   | 男性 |
|  | 具体的個別の実現を期待しております。  | 50代   | 男性 |
|  | 良いアイデアなので、一翼を担って。リーダーシップをもってうまくまとめあげてほしい。   | 50代   | 男性 |
| スピードを持って行ってほしい。「機会の平等」の意識醸成を考えてほしい。  | 60代   | 男性    |    |
| ・日本における成人全国民の婚姻に関する自由と平等の権利の確立<br>・配偶者関係のある両名の間に不妊治療の保険がきくこと<br>・配偶者関係にある両名を親権者として養子を迎え入れることができる<br>・家庭における異性愛者以外の子弟の発生について差別を禁止し、同性愛者や性同一性障害にかかる子弟(子ども)をその理由により、戸籍からできるように言い渡したり、絶縁したり、墓に入ることを断ったり、家族の会合への参加を断ったり、自然災害時における避難先を断ったりといった不利益一差別を禁止<br>・LGBT専用のハローワーク窓口の設置<br>・同性愛者や性同一性障害にかかる人たちへの法制度を整えていくことを要望します。<br>自死防止や雇用の安定により、税金収入の増加と安定につながる可能性があります。何よりも20代のLGBTが学生の友人たちと同様に生き活きたした将来像を描き、人生設計を一つずつ手にし、幸せに生きていけるように願います。人は一生20代ということではないので、生まれてくる子供、中高年、老人期、死までの医療・福祉・教育・公共・商業・風土すべてにおいての取組について考えていきましょう。一緒に。 | 40代   | 女性    |    |

「一億総活躍社会の実現に向けたご意見・ご要望」(一億総活躍社会実現対話・東京 アンケート結果)

| 項目  | 意見・要望  | 年齢    | 性別 |
|-----|--|-------|----|
| その他 | 広報活動を充実してください。国民ひとりひとりの目標です。地域の公民館等で対話集会をしてください。人間関係を「タテ」ではなく、「横」の関係に。   | 70代以上 | 男性 |
|     | このような意見をやる機会をもうけてほしい。  | 40代   | 男性 |
|     | 格差社会はこれからも続く。働かざる者に税金を使う必要はない。弱者の分類が必要。助ける必要のない弱者も多い。警察官OB、消防士OBに社会のために活躍してほしい。  | 70代以上 | 男性 |
|     | 確かに活躍できる基盤作りは大切だと思います。しかしその基盤を活用する意欲がなければ、総活躍とはなりません。活躍する意欲作りをどうしていくかが課題であります。多くの人に活躍の場を発表する、意欲作りのために表現活動の自由の確保に尽力いただけたらと思います。 | 30代   | 男性 |